

令和3年産「ゆめかおり」栽培講習会を開催

パン用小麦「ゆめかおり」の生産規模拡大と品質維持に向け、生産グループ「茨城パン小麦栽培研究会」を対象に、令和2年10月13日に栽培講習会を開催し、県農業研究所、県農業総合センター、当普及センターから栽培管理のポイントについて説明を行いました。

当研究会は、きめ細かな肥培管理により、パンの膨らみを左右する「タンパク質含有率」を調整し、実需者ニーズに合った高品質な小麦づくりを実践しています。実需者と直接取引を行っていることもあり、各生産者が責任感をもって栽培ルールを確認する様子が見られました。

当研究会は、近年の需要の高まりを受け、「ゆめかおり」の栽培面積を急速に拡大しつつあり、令和3年産では前年より多い作付けを予定しています。平成26年の研究会発足当初は、当普及センター管内の生産者のみでしたが、現在は県西地域を中心に、複数の普及センター管轄エリアで生産者が増えています。

産地の拡大に対応するため、昨年度、衛星画像解析を肥培管理の指標として導入し、先端農業技術の実装による品質管理を開始しました。普及センターでは、広域連携しながら技術サポートを行い、ICT等を活用した高品質な麦づくりを推進していきます。



令和2年10月15日 坂東地域農業改良普及センター 油谷百合子（成長産業）